

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	バス運行事業（堺市立総合医療センター線運行事業）				事業番号	017-068	
担当部署名	建築都市局	局	交通部	部	交通政策課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.2		
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	堺市地域公共交通計画		
3	事業開始年度	令和 6 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	—		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	市民（当該路線バス利用者（令和8年度延べ年間利用者数目標値））	対象数	単位
			126,000	人
7	事業の目的	鉄道駅から堺市立総合医療センターへの移動手段を確保するため、市民生活上必要であり定着しているバス路線を維持し、もって住民福祉の一層の向上を図ることを目的とする。		
8	事業内容	本市と堺市立病院機構、南海バスが協定を締結し、南海バスが堺市立総合医療センター線の下記 2 系統を運行している。本市は運行経費から堺市立病院機構負担額、運行収入等を控除した差額を負担する。 ○111系統（中もず駅前～堺市立総合医療センター前） 平成27年7月1日運行開始 約4.0km 運賃230～270円 中もず駅前→堺市立総合医療センター前15便、堺市立総合医療センター前→中もず駅前13便 ○112系統（石津川駅前～堺市立総合医療センター前） 平成27年7月1日運行開始 約7.0 km 運賃200～350円 石津川駅前→堺市立総合医療センター前10便、堺市立総合医療センター前→石津川駅前8便		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	南海バス株式会社		
10	公民連携・協働事業	堺市立病院機構、民間路線バス事業者との共同事業として実施		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	医療センター線路線バス延べ年間利用者数	人	目標値	81,000	119,000	126,000	121,000
			実績値	118,177	120,618		
			達成率	146%	101%		
当該指標を選定した理由		バス利用者数が増加するほど、バス路線の維持に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績と同水準。R8年度はおでかけ応援制度の無償化による増進効果を考慮。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	1日平均運行回数 (往復合わせ)	回	目標値	46	46	46	
			実績値	46	46		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		運行回数を維持することにより、バスの利用促進を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		現行の運行回数（平日：46回、土休日：46回）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	バス運行事業（堺市立総合医療センター線運行事業）	事業番号	017-068
-------	--------------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量												
事業コスト												
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）												
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度			令和8年度		
			決算		決算		当初予算		決算		当初予算	
		事業費（a）	0		10,107		10,272		9,108		12,285	
		国支出金	0		0		0		0		0	
		府支出金	0		0		0		0		0	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他（ ）	0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
		一般財源	0		10,107		10,272		9,108		12,285	
		14	人件費（b）	0		2,430		1,680		1,680		1,740
15	年間経費（c）=(a)+(b)	0		12,537		11,952		10,788		14,025		
事業費の内訳												
（単位：千円）												
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		堺市立総合医療センター線運行負担金	R7	決算	9,108	9,108		R7	決算			
			R8	予算	12,285	12,285		R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
R8	予算				R8	予算						
Ⅳ. 事業の効率性												
単位当たり経費												
17	①	医療センター線バス年間利用者数			人	118,177		120,618				
	②	上記①にかかる年間経費			千円	12,537		10,788				
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	106		89				
	算出についての説明等											
Ⅴ. 評価												
費用対効果に係る所見												
18	令和6年度と比較して令和7年度はバスの年間利用者数が増加し運賃収入の増加等により年間経費は減少し、利用者一人当たりの経費は減少した。今年度も引き続き、バス利用者の利用促進に努める。											
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19	当該バス路線において、市と堺市立病院機構が運行経費から運賃収入等を控除した差額分を負担して運行することにより、市内鉄道駅から堺市立総合医療センターへの移動手段の維持確保に寄与した。											
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業により、市内鉄道駅から堺市立総合医療センターへの移動手段が確保され、通院をはじめとする日常生活を支える重要な交通インフラとして定着しており、本事業の必要性および有効性は高いと考えられる。									
	有効性	■ 高い □ 低い										